

No.	120-130	事務事業名	交通安全施設整備事業				所 属 部	総務部	
							所 属 課	安心安全課	
			政策名	0 1	快適で魅力あるまちづくり			課 長 名	尾 堂 守
			施策名	0 5	交通安全・防犯の推進			所 属 G ( 係 )	交通防犯グループ
		基本事業名	0 1	交通安全の推進			電 話 番 号	45-5111	

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠
	一般	0 2	0 1	1 4	23010	交通安全対策費	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
交通の円滑と事故防止を図るため、カーブミラー、ガードレールの設置及び修繕や、停止線、警戒標識等を設置し、これらの維持管理を行なう。また、交通危険箇所等の点検も行なう。 事業は地区自治公民館の要望をとりまとめたまちづくり実施計画書等に基づき、現地を確認後実施する。 危険箇所点検は主要交差点等を主に行なう。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 35 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単 位	
<ul style="list-style-type: none"> <li>カーブミラー・・・99基</li> <li>危険箇所点検パトロール・・・12回</li> <li>ガードレール・・・1,022m</li> <li>パイプ・・・261m</li> <li>転落防止柵・・・43m</li> <li>区画線・・・7,511m</li> </ul>		ア 交通安全施設設置箇所数	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		単 位	
<ul style="list-style-type: none"> <li>カーブミラー新設工事</li> <li>危険箇所巡回パトロール</li> <li>ガードレール・停止線・警戒標識線新設工事</li> </ul>		イ 危険箇所の点検	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		単 位	
市域		ア 設置要望箇所	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		単 位	
交通安全施設が整備された状態になる。		ア 交通安全施設設置箇所数	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		単 位	
交通事故が起こりにくい環境となる。		ア 交通安全施設の設置箇所数/設置要望があった箇所数	

(2) 総事業費・指標等の推移		単 位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)	
投入量	事業内 財源内 財源	国庫支出金	千円				
		都道府県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	29,778	29,970	29,997	32,211
		事業費計(A)	千円	29,778	29,970	29,997	32,211
活動指標		ア 箇所	106	175	148	150	
		イ 回	10	12	10	10	
対象指標		ア 箇所	110	190	155	150	
成果指標		ア 箇所	106	175	148	150	
上位成果指標		ア %	96	92	96	93	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 人口増加に伴い、交通事故が多発しており、交通事故の減少を目指し、交通安全施設整備を昭和35年から始めた。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 都市化に伴い人口、自動車等の交通量も多くなり、また道路総延長距離も延びて、交通危険箇所は増加している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 各自治公民館等から交通安全施設の設置要望が多数寄せられている。	

事務事業名	交通安全施設整備事業	所属部	総務部	所属課	安心安全課																					
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																										
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?																								
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?																								
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?																								
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?																								
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																								
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?																								
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)																								
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)																								
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?																								
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		要望箇所全てを整備するための予算が確保されていない。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>/</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td>/</td> <td></td> <td>/</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			/		低下	/		/
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持			/																						
	低下	/		/																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																										

No.	120-140	事務事業名	交通安全専門指導員事業	所属部	総務部
政策体系	政策名	0 1	快適で魅力あるまちづくり	所属課	安心安全課
	施策名	0 5	交通安全・防犯の推進	課長名	尾堂 守
	基本事業名	0 1	交通安全の推進	所属G(係)	交通防犯G
				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	霧島市交通安全専門指導員条例
	一般	0	2	0	1	1		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
市民に正しい交通のルールを周知徹底するとともに、交通道徳の高揚を図る目的をもって、市に交通安全専門指導員を置く。 (業務内容) ・各種交通安全教室の実施。 ・交通安全教室開催申込受付事務。 ・交通相談、交通街頭指導、交通安全車による広報活動。		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 47 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (        年度 ~        年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 教室開催回数	回
20年度計画(20年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 教室受講者数	人
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市民	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	交通安全意識が高まる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	交通ルール・マナーを守る。	名称	単位
		ア 人口	人
		イ 交通弱者数	人
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 交通教室受講者数 / 交通弱者数	%
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 交通事故発生件数	件
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	7,217	7,217	7,217	7,383	
	事業費計(A)	千円	7,217	7,217	7,217	7,383		
活動指標	ア	回	154	188	195	200		
	イ	人	18,235	25,418	22,142	25,000		
	ウ							
対象指標	ア	人	127,615	127,773	127,450	128,383		
	イ	人	41,310	41,633	41,583	41,500		
	ウ							
成果指標	ア	%	44	61	53	60		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	件	1,003	1,077	1,044	1,000		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?特に変化なし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?特になし	

事務事業名	交通安全専門指導員事業	所属部	総務部	所属課	安心安全課																									
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																														
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 交通安全専門指導員により交通安全教室を開催したり、広報活動したりすることにより、市民の交通安全意識が高まることは、市民が交通ルール・マナーを守ることに結びついている。																												
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 市民の安心安全に係わる事業なので、市が行う必要がある。																												
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 霧島市民全体を対象としているので、対象は適切である。また、交通安全専門指導員による様々な取組みによって市民の交通安全意識を高め、交通ルールやマナーを身につけてもらうための事業なので、意図も適切である。																												
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 啓発活動や交通安全教室の回数を増やすことにより成果の向上が期待できると思う。																												
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 指導員制度を廃止すると、市民への交通道德教育に多大な影響を与えるとともに、また、交通事故を減少させるためにも欠かせない存在であると思われる。																												
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 類似事業なし。																												
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 市・警察・交通安全協会が一体となり交通教室等を実施していることにより、削減の余地はなし。																												
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 交通安全教室等は、嘱託員(4名)で対応している。																												
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 市民が対象であることから受益者負担はない。																												
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																														
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		交通専門指導員(4名)は、嘱託職員である。 交通安全教室の回数を増やすことにより、成果の向上が期待できる。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
低下	維持																													
	低下																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																														

No.	120-150	事務事業名	交通事故防止指導事業				所 属 部	総務部
							所 属 課	安心安全課
							課 長 名	尾 堂 守
							所 属 G ( 係 )	交通防犯グループ
政策体系	政策名	0 1	快適で魅力あるまちづくり				電 話 番 号	45-5111
	施策名	0 5	交通安全・防犯の推進					
	基本事業名	0 1	交通安全の推進					

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠
	一般	0 2	0 1	1 4	23010	交通安全対策費	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
・学校周辺の主要交差点における交通街頭指導を行うことにより、市民及び交通弱者が交通事故に遭うことを防ぐ。 交通街頭指導は安心安全課職員以外にも、自治公民館や学校PTAといった各種団体のボランティアや警察、交通安全協会の協力も得ながら行っている。 ・街頭キャンペーン、広報啓発活動の実施。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 39 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (        年度 ~        年度 )

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
各季交通安全運動期間中における交通街頭指導の実施、街頭キャンペーン、広報啓発活動。		ア	交通街頭指導回数
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・市民		名称	
・交通弱者(児童・生徒・高齢者)		単位	
		ア	人口
		イ	交通弱者数
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
交通街頭指導により交通事故に遭わず安全に通行できる。		名称	
		単位	
		ア	交通弱者事故発生件数 / 交通事故発生件数
		イ	%
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
交通ルール・マナーを守る。		名称	
		単位	
		ア	交通事故発生件数
		イ	件
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	30	30	30	30	
	事業費計 (A)	千円	30	30	30	30		
活動指標	ア	回	100	90	90	100		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	人	127,615	127,773	127,450	128,383		
	イ	人	41,310	41,633	41,583	41,600		
	ウ							
成果指標	ア	%	44	44	41	40		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	件	1,003	1,077	1,044	1,000		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
各季交通安全運動期間中における具体的活動として、昭和39年頃から交通街頭指導の取組みが始まった。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
特に変化なし
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
特になし

事務事業名	交通事故防止指導事業	所属部	総務部	所属課	安心安全課																					
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																										
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?																								
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?																								
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?																								
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?																								
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																								
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 交通安全教室事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?																								
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)																								
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)																								
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?																								
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		交通街頭指導の回数を増やし、交通弱者の通行をこれまで以上に見守ることで、成果の向上が期待できる。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																										

No.	120-160	事務事業名	交通安全母の会運営支援事業	所 属 部	総務部
		政策名	0 1 快適で魅力あるまちづくり	所 属 課	安心安全課
		施策名	0 5 交通安全・防犯の推進	課 長 名	尾 堂 守
政策体系	基本事業名	0 1 交通安全の推進	所 属 G ( 係 )	交通防犯G	
			電 話 番 号	45-5111	

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱 (別表第1)
	一般	0	2	0	1	1		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
霧島市交通安全母の会が円滑な活動を行えるよう、補助金を交付する。 霧島市交通安全母の会とは、交通安全に果たす母親の役割の重要性を認識し、地域における母親達の連帯感を深め、自主的な交通安全活動を推進することを目的とする。会員は、PTA組織、婦人会員。 主な取組みとして、交通安全街頭キャンペーンへの参加、全国キャラバン隊引継ぎ式、各小学校周辺交差点における子ども登校時の交通立哨活動、県下一斉飲酒運転根絶運動、子育て・高齢者訪問事業を行っている。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 55 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		
手段(主な活動)	名称	単位	
20年度実績(20年度に行った主な活動)	ア 補助した団体数	団体	
事務事業の概要と同様。	イ		
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	ウ		
前年度と同様			
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	対象指標(対象の大きさを表す指標)	名称	単位
市民、交通弱者(児童・生徒・高齢者)	ア 市民	人	
<補助金交付先>霧島市交通安全母の会	イ 交通安全母の会の会員数	人	
<補助対象活動>交通安全母の会の運営に関する経費	ウ		
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	名称	単位
交通安全意識が高まる。	ア 交通弱者事故発生件数	件	
	イ		
	ウ		
結果(どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	名称	単位
交通ルール・マナーを守る。	ア 交通事故発生件数	件	
	イ		
	ウ		

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	604	653	653	623		
	事業費計(A)	千円	604	653	653	623			
活動指標	ア 団体		1	1	1	1			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア 人		127,615	127,773	127,450	128,383			
	イ 人		11,089	11,140	12,186	12,000			
	ウ								
成果指標	ア 件			158	134	130			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア 件		1,003	1,077	1,044	1,000			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 「交通安全は家庭から」という取組み支援するため、昭和55年から開始。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 特に変化なし
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし

事務事業名	交通安全母の会運営支援事業	所属部	総務部	所属課	安心安全課																				
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																									
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 補助金の交付を受けた交通安全母の会が活動することによって、市民の交通安全意識が高まり、交通ルールやマナーを守ることに結びつく。																							
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 市民の交通安全意識を高め、交通事故のない安心安全なまちをつくっていくことは市の責務であり、そのような取組みを行っている団体を支援することは妥当である。																							
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 霧島市が交通事故のない安心安全なまちとなるには、交通安全母の会会員をはじめ、全市民の交通安全意識が高まるのが大切であることから、対象・意図ともに適切。																							
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 交通安全母の会に様々な取組みを引き続き実施してもらい、市民の交通安全意識を高めることにより、成果の向上が期待できる。																							
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 交通安全母の会の取組みが縮小し、市民の交通安全に対する意識の向上や取組みの機会が減少する恐れがある。																							
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 霧島市、警察、交通安全協会、交通安全市民運動推進協議会で取組んでいる、交通安全に関する各種事務事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ 交通安全に関し、交通安全母の会・市・警察・交通安全協会・交通安全市民運動推進協議会と、これまで連携して取組んでいる。今後とも連携していく。																							
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 市の財政状況もあると思うが、交通安全母の会活動を円滑に遂行できる予算としては、現事業費で必要最低限であり、これ以上の削減余地はない。																							
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 業務としては、補助金交付の事務と精算額がある。補助金交付の事務については、市として決めている手順により事務を行っているため、削減余地はない。また、精算額についても、同理由により削減余地はない。																							
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 交通安全母の会の活動は、全市民を対象としているので、受益機会は公平。また、受益者負担は求めている。																							
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																									
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		今後とも交通安全母の会を支援し、連携して交通安全意識の向上に取組む。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									



No.	120-170	事務事業名	霧島・横川地区交通安全協会運営支援事業	所属部	総務部
政策体系	政策名	01	快適で魅力あるまちづくり	所属課	安心安全課
	施策名	05	交通安全・防犯の推進	課長名	尾堂 守
	基本事業名	01	交通安全の推進	所属G(係)	交通防犯G
				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠
	一般	02	01	15	23010	交通安全対策費	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
霧島地区交通安全協会と横川地区交通安全協会が円滑に活動できるよう、補助金を交付する。 霧島地区交通安全協会と横川地区交通安全協会とは、交通安全の推進を目的として設立された任意団体。市民を会員として運営されている団体である。主な取組みとして、各季交通安全運動期間中の街頭キャンペーン、街頭立哨、広報啓発活動(交通安全運動チラシの作成)を行っている。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 23 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標 手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)												
20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様。	<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>補助した協会数</td><td>団体</td></tr> <tr><td>イ</td><td>街頭キャンペーン</td><td>回</td></tr> <tr><td>ウ</td><td>街頭立哨</td><td>日</td></tr> </table>	名称		単位	ア	補助した協会数	団体	イ	街頭キャンペーン	回	ウ	街頭立哨	日
名称		単位											
ア	補助した協会数	団体											
イ	街頭キャンペーン	回											
ウ	街頭立哨	日											
21年度計画(21年度に計画している主な事業) 前年度と同様。													
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民、交通安全協会会員 <補助金交付先>霧島地区交通安全協会、横川地区交通安全協会 <補助対象活動>協会の運営に関する経費	<table border="1"> <tr><th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>市民</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td>交通安全協会会員</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>	対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	ア	市民	人	イ	交通安全協会会員	人	ウ		
対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位											
ア	市民	人											
イ	交通安全協会会員	人											
ウ													
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 交通安全意識が高まる。	<table border="1"> <tr><th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>交通事故発生件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		単位	ア	交通事故発生件数	件	イ			ウ		
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		単位											
ア	交通事故発生件数	件											
イ													
ウ													
結果(どんな結果に結び付けるのか) 交通ルール・マナーを守る。	<table border="1"> <tr><th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>交通事故発生件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位	ア	交通事故発生件数	件	イ			ウ		
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位											
ア	交通事故発生件数	件											
イ													
ウ													

(2) 総事業費・指標等の推移	単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	2,429	2,217	1,649	1,485	
		事業費計(A)	千円	2,429	2,217	1,649	1,485	
活動指標	ア 団体	2	2	2	2			
	イ 回	4	4	4	4			
	ウ 日	20	20	20	20			
対象指標	ア 人	127,615	127,773	127,450	128,383			
	イ 人	44,360	36,176	38,732	38,800			
	ウ							
成果指標	ア 件	1,003	1,077	1,044	1,000			
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア 件	1,003	1,077	1,044	1,000			
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 霧島地区交通安全協会: 昭和23年4月に任意団体として設立され、その結成と共に、協会、各支部に補助金の交付を開始した。 横川地区交通安全協会: 昭和38年2月に任意団体として設立され、その結成と共に、横川、牧園支部に補助金の交付を開始した。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 年々会員数が減少の傾向にある。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし

事務事業名	霧島・横川地区交通安全協会運営支援事業	所属部	総務部	所属課	安心安全課																
<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																					
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?																			
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?																			
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?																			
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?																			
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																			
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 霧島市、警察、交通安全母の会、交通安全市民運動推進協議会で取組んでいる、交通安全に関する各種事務事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ 交通安全に関し、市・警察・交通安全協会・交通安全母の会・交通安全市民運動推進協議会と、これまでも連携して取組んでいる。今後とも連携していく。																			
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)																			
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)																			
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?																			
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																					
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		今後とも交通安全協会を支援し、連携して交通安全意識の向上に取組む。																			
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下			
		コスト																			
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持 低下																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					

No.	120-200	事務事業名	交通安全市民運動推進協議会支援事業			所 属 部	総務部	
						所 属 課	安心安全課	
			政策名	0	1	快適で魅力あるまちづくり	課 長 名	尾 堂 守
			施策名	0	5	交通安全・防犯の推進	所 属 G ( 係 )	交通防犯G
政策体系	基本事業名	0	1	交通安全の推進	電 話 番 号	45-5111		

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱 (第2条別表第1)
	一般	0	2	0	1	1		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間	
市民総ぐるみの交通安全を目的に組織されている交通安全市民運動推進協議会が円滑な活動を行えるように補助金を交付する事務で、安心安全課が事務局を担当している。 <協議会活動内容> 交通安全運動期間中の交通街頭キャンペーンや交通立哨指導、交通安全啓発活動、新入学児童へのランドセルカバー配布事業、霧島市無事故・無違反180日コンテストの実施(市内の運転免許を有する者が3名1組でチームを結成し、チーム全員が180日間無事故・無違反を達成することを目標に安全運転を実施して、参加者自身の交通安全意識を高める)。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 46 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様。		名称 ア 交通安全街頭キャンペーン実施数 単位 回	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		イ 霧島市無事故・無違反180日コンテストの参加者数 単位 人	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民 <補助金交付先> 霧島市交通安全市民運動推進協議会 <補助対象活動> 協議会交通安全推進事業		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 ア 人口 単位 人	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 交通安全意識が高まる。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 ア コンテスト参加者数/免許保持者数 単位 %	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 交通ルール・マナーを守る。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 ア 交通事故発生件数 単位 件	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)			
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	2,031	1,643	1,628	1,260		
事業費計(A)		千円	2,031	1,643	1,628	1,260			
活動指標		ア 回	6	10	10	10			
		イ 人	1,098	1,647	2,073	2,300			
		ウ							
対象指標		ア 人	127,615	127,773	127,450	128,383			
		イ							
		ウ							
成果指標		ア %	1.3	1.0	2.0	2.0			
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア 件	1,003	1,077	1,044	1,000			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和46年の国分市交通安全市民運動推進協議会設立に伴い開始した。霧島市無事故・無違反180日コンテストについては、市長のマニフェストにより、平成18年度から開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
県内の他の市町村と比べ、交通事故の件数が多い。(国分、隼人地区)	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし。	

事務事業名	交通安全市民運動推進協議会支援事業	所属部	総務部	所属課	安心安全課																				
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																									
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 交通安全市民運動推進協議会が活動することによって、市民の交通安全意識が高まり、交通ルールやマナーを守ることに結びつく。																							
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 市民の交通安全意識を高め、交通事故のない安心安全なまちをつくっていくことは市の責務であり、そのような取組みを行っている団体を支援することは妥当である。																							
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 霧島市が交通事故のない安心安全なまちとなるには、全市民の交通安全意識が高まるのが大切であることから、対象・意図ともに適切。																							
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 県が同様な事業を実施しているため参加者の増は見込めない。																							
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 県が実施している事業への積極的な参加を促すことで、廃止しても影響は無い。																							
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? ↳ 警察、自動車安全センターで取り組んでいるマナーアップ鹿児島～交通安全コンテストへの参加。																							
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 180日コンテストの参加費用として1人700円必要であり、賞品予算の削減など、これ以上の削減は、参加者の減をまねき、成果を下げることにつながるため、削減余地はない。																							
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 業務としては、補助金交付の事務や精算事務がある。補助金交付の事務については、市として決めている手順により事務を行っているため、削減余地はない。また、精算事務についても、同理由により、削減余地はない。																							
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 交通安全市民運動推進協議会の活動は、全市民を対象としているので、受益機会は公平。また、受益者負担は求めている。																							
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																									
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		↳ 霧島市無事故・無違反180日コンテストについて、参加者を増やす取り組みを行う必要がある。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

No.	120-230	事務事業名	安全灯設置事業	所 属 部	総務部
		政策名	0 1 快適で魅力あるまちづくり	所 属 課	安心安全課
		施策名	0 5 交通安全・防犯の推進	課 長 名	尾 堂 守
		基本事業名	0 2 防犯活動の推進	所 属 G ( 係 )	交通防犯グループ
				電話 番 号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠
	一般	0 2	0 1	1 4	23015	防犯対策費	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
生徒の通学路の安全を確保するため、主に集落間の明かりのない場所に安全灯を設置する。 事務概要 ・市内各中・高校からの設置要望書の取りまとめ事務や要望箇所の現地調査 ・設計・施工・入札業務(建設部建築住宅課が行う) ・道路占用許可申請・NTT柱併設置占用許可申請事務	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 17 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (        年度 ~        年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標	S	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)	H	名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)		ア 安全灯の設置数	基
霧島市内に57基設置。 (内訳)国分:10基、隼人:9基、溝辺:10基、横川:18基、霧島:10基			
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	イ		
霧島市内に40基設置予定。 (内訳)国分:14基、隼人:15基、横川:11基)	ウ		
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市域(市内通学路)		ア 安全灯の設置要望箇所数	基
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
安全灯が設置される。		ア 安全灯設置箇所数 / 安全灯の設置要望箇所数	%
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
犯罪の起きにくい環境となる。		ア 防犯設備の設置箇所数 / 設置要望があった箇所数	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移	単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)			
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円		3,815			
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	5,111	830	2,205	2,205	
		事業費計(A)	千円	5,111	4,645	2,205	2,205	
活動指標	ア 基	124	63	57	40			
	イ							
	ウ							
対象指標	ア 基	210	80	71	40			
	イ							
	ウ							
成果指標	ア %	59.0	78.8	80.3	100			
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア %	76	90	98	100			
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 生徒の通学路を対象に通学者が帰宅時に犯罪に巻き込まれないよう、平成17年度から設置を開始する。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 声かけ事案等が大幅に減少した。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 市内中学校等から、引き続き安全灯設置の要望が寄せられている。

事務事業名	安全灯設置事業	所属部	総務部	所属課	安心安全課																
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																					
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 安全灯を設置して明かりを確保することは、犯罪の起こりにくい環境となることに結びつく。																			
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 市内の暗がりなど、犯罪が起きやすい環境の解消は市が行うべきである。																			
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 市内の集落間の暗がりといった犯罪が起きやすい場所を対象としており、対象については適切。また、そのような暗がりを解消するために事業を実施しており、意図も適切。																			
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 安全灯は、当該年度の予算の範囲内で設置している。そのため、要望があっても設置できない箇所がある。要望箇所全てに設置することにより、成果の向上余地はある。																			
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 安全灯の設置ができなくなり、市内の暗がりといった犯罪が起きやすい環境を解消できなくなる。																			
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 防犯灯設置事業(霧島市防犯組合連合会) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 防犯灯は、集落内の暗がりをなくし、犯罪を未然に防止することを目的として設置されている。集落間の暗がりをなくし、犯罪を未然に防止することを目的としている安全灯設置事業と併せて実施していくことにより、霧島市内の暗がりの解消につなげることができる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷																			
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業は公共単価の設計に基づき、各地区分を一括して競争入札により執行している。そのため、事業費の削減余地はない。																			
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 設計事務は、建築住宅課に依頼している。また、道路占用許可申請や入札事務は決められた手順に基づき行っている。設置要望のとりまとめや要望箇所の現地調査については、必要不可欠な業務であり削減の余地はない。																			
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 安全灯の設置は市域を対象としており受益機会は公平である。また、費用負担については、公共施設の整備であり受益者負担を求めるものではない。																			
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																					
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		今後とも防犯灯設置事業と連携し、市内の暗がりをなくし、犯罪を未然に防止するよう努める。ただ、要望箇所全てを整備するための予算が確保されていない。																			
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			維持		▲	低下	▲	▲
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持		▲																		
	低下	▲	▲																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					

No.	120-240	事務事業名	市防犯組合連合会運営事業			所属部	総務部
						所属課	安心安全課
政策体系	政策名	01	快適で魅力あるまちづくり			課長名	尾堂 守
	施策名	05	交通安全・防犯の推進			所属G(係)	交通防犯グループ
	基本事業名	02	防犯活動の推進			電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	霧島市安心安全まちづくり条例、霧島市防犯組合連合会規約、霧島市防犯組合連合会防犯灯設置補助基準、霧島市防犯組合連合会防犯灯設置事業実施要綱
	一般	0	2	0	1	1		

<p><b>事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)</b></p> <p>市内の暗がり無くし、市民が安心して暮らせる安全な街づくりを目指し、自治会が集落内に防犯灯を設置する事業費の補助金を霧島市防犯組合連合会に交付する。設置した防犯灯の電気料等の維持管理は自治公民館、自治会が行う。                  &lt;霧島市防犯組合連合会の組織概要&gt;                  ・各地区自治公民館を単位として組織された7地区(旧市町ごと)の防犯組合連絡協議会を一元化した団体。(事務局:安心安全課)                  &lt;主な事務&gt;各地区自治公民館長へ設置要望の取りまとめ依頼や要望箇所の現地調査。道路・NTT柱併設等設置占用許可申請手続き事務。入札業務。</p>		<p><b>事業期間</b></p> <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 48 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度)
---	--	---

**1 現状把握の部(DO)**

<p><b>(1) 事務事業の目的と指標</b></p> <p>手段(主な活動)</p> <p><b>20年度実績(20年度に行った主な活動)</b>                  霧島市内に防犯灯186基を設置した。                  (内訳)国分:51基、溝辺:22基、横川:16基、牧園:22基、霧島:10基                  隼人:53基、福山:12基</p> <p><b>21年度計画(21年度に計画している主な活動)</b>                  霧島市内に防犯灯148基を設置予定。                  (内訳)国分:45基、溝辺:13基、横川:16基、牧園:11基、霧島:7基                  隼人:50基、福山:6基</p> <p>対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等                  地域                  補助金交付先 霧島市防犯組合連合会                  補助対象活動 防犯灯の設置費</p> <p>意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)                  防犯灯が設置される。</p> <p>結果(どんな結果に結び付けるのか)                  犯罪の起きにくい環境となる。</p>		<p><b>活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 防犯灯の設置数</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>対象指標(対象の大きさを表す指標)</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 防犯灯設置要望数</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 防犯灯設置数/設置要望数</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 防犯設備の設置箇所数/設置設置要望があった箇所数</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 防犯灯の設置数	基	イ		ウ		名称	単位	ア 防犯灯設置要望数	箇所	イ		ウ		名称	単位	ア 防犯灯設置数/設置要望数	%	イ		ウ		名称	単位	ア 防犯設備の設置箇所数/設置設置要望があった箇所数	%	イ		ウ	
名称	単位																																	
ア 防犯灯の設置数	基																																	
イ																																		
ウ																																		
名称	単位																																	
ア 防犯灯設置要望数	箇所																																	
イ																																		
ウ																																		
名称	単位																																	
ア 防犯灯設置数/設置要望数	%																																	
イ																																		
ウ																																		
名称	単位																																	
ア 防犯設備の設置箇所数/設置設置要望があった箇所数	%																																	
イ																																		
ウ																																		

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	3,697	4,518	4,403	4,279		
	事業費計(A)	千円	3,697	4,518	4,403	4,019			
活動指標	ア 基		204	201	186	150			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア 箇所		224	212	190	150			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア %		91.1	94.8	97.9	100			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア %		76	90	98	92			
	イ								
	ウ								

<p><b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b></p> <p>この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?                  市街化が進むなか集落内の暗がり無くして、犯罪の未然防止を図ることを目的として、昭和48年から事業を開始した。</p> <p>事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?                  新興住宅地や郊外の開発に伴い、防犯灯を必要とする地域が増加している。</p> <p>この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?                  市民から防犯灯設置の要望が寄せられている。</p>	
--	--

事務事業名	市防犯組合連合会運営事業	所属部	総務部	所属課	安心安全課																									
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																														
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 防犯灯を設置して明かりを確保することは、犯罪の起こりにくい環境となることに結びつく。																												
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 霧島市防犯組合連合会は、集落内の暗がりといった犯罪が起きやすい環境を解消するために防犯灯を設置しており、安心安全なまちづくりを目指している霧島市として行うべき事業である。																												
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 集落内の暗がりといった犯罪が起きやすい場所を対象としており、対象については適切。また、そのような暗がりを解消するために事業を実施しており、意図も適切。																												
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 設置要望が多く、予算の関係で全てを設置できない状況である。要望箇所全てに設置することにより、成果の向上余地はある。																												
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 防犯灯の設置ができなくなり、市内の暗がりといった犯罪が起きやすい環境を解消できなくなる。																												
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↳ 安全灯設置事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 安全灯は、集落間の暗がりをなくし、犯罪を未然に防止することを目的として設置されている。集落内の暗がりをなくし、犯罪を未然に防止することを目的としている防犯灯の設置と併せて実施していくことにより、霧島市内の暗がりの解消につなげることができる。																												
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 設置事業は各地区防犯組合ごとに実施しているため、今後、資機材の統一化を図ることにより、事業費を削減できる余地はある。																												
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 設計事務は、建築住宅課に依頼している。また、道路占用許可申請や入札事務は決められた手順に基づき行っている。設置要望のとりまとめや要望箇所の現地調査については、必要不可欠な業務であり削減の余地はない。																												
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 防犯灯の設置は市域を対象としており受益機会は公平である。また、受益者負担については、主に設置後の防犯灯を利用する、防犯灯を設置した集落の自治公民館や自治会が維持管理費など応分の負担をしているので、公平・公正である。																												
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																														
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		今後とも安全灯設置事業と連携し、市内の暗がりをなくし、犯罪を未然に防止するよう努める。ただ、要望箇所全てを整備するための予算が確保されてない。また、各地区ごとに選定している資機材を統一化することにより、事業費の削減を図る必要がある。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
低下	維持																													
	低下																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																														



No.	120-250	事務事業名	防犯パトロール隊支援事業			所属部	総務部
						所属課	安心安全課
政策体系	政策名	01	快適で魅力あるまちづくり			課長名	尾堂 守
	施策名	05	交通安全・防犯の推進			所属G(係)	交通防犯G
	基本事業名	02	防犯活動の推進			電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	霧島市安心安全まちづくり条例 防犯パトロール支援事業実施要綱
	一般	02	01	15	23015	防犯対策費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
現在、市内各地域で(防犯パトロール隊の活動について記載)を行っているボランティア団体「防犯パトロール隊」が結成されている。この事業では、防犯パトロール隊の活動支援として、パトロール用品を支給している。また、防犯パトロール隊が未結成の地域には結成してもらうよう働きかけている。 ・パトロール用品の支給(腕章、帽子、タスキ、のぼり旗等) ・支援対象…自治会内10人以上で組織し、一年以上活動を継続できる非営利団体。 ・支援内容…1団体5万円を上限。 市内防犯パトロール隊組織団体数…86団体(H21.3.31現在) 8,940人		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 18 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度)

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と目標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同様		ア	防犯パトロール用品支援団体数
			団体
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民		名称	
防犯パトロール隊が未結成の地域		単位	
		ア	人口
		イ	防犯パトロール隊が未結成の地域
		ウ	自治会
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
防犯意識が高まる。		名称	
防犯パトロール隊が結成される。		単位	
		ア	地域等の防犯活動に取り組んでいる市民の割合
		イ	防犯パトロール隊が結成できた地域(累計)
		ウ	自治会
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
犯罪の起きにくい環境となる。		名称	
		単位	
		ア	地域等の防犯活動に取り組んでいる市民の割合
		イ	
		ウ	%

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円				
		都道府県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	1,447	1,280	194	200
		事業費計(A)	千円	1,447	1,280	194	200
活動指標		ア 団体	58	12	5	5	
対象指標		ア 人	127,615	127,773	127,450	128,383	
		イ 自治会	673	161	143	100	
成果指標		ア %		3.9	3.1	7.0	
		イ 自治会	512	530	573	593	
上位成果指標		ア %		3.9	3.1	7.0	
		イ					
		ウ					

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
自らのまちは自らで守ろうという防犯パトロール隊の活動を積極的に支援し、犯罪のないまちづくりを目指すため、平成18年度から開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
防犯パトロール隊の新規結成数が減少傾向にある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし。	

事務事業名	防犯パトロール隊支援事業	所属部	総務部	所属課	安心安全課																									
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																														
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 市民の防犯意識が高まることにより防犯パトロール活動が行われることは、犯罪の起りにくい環境になることに結びついている。																												
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 市民の防犯意識を高め、安全で安心して暮らせるまちをつかっていくことは、市の責務である。																												
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 対象については、防犯パトロール隊の隊員を組織している市民と、防犯パトロール隊未結成の地域としている。市民の防犯意識を高め、全市的に防犯パトロール隊を結成していくことにより、霧島市が犯罪の起りにくい環境となることを目的としており、対象・意図ともに適切である。																												
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 防犯パトロール隊未結成の地域がある。このような地域で防犯パトロール隊を結成することにより、成果の向上が期待できる。																												
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 新たな防犯パトロール隊の結成が減る可能性がある。																												
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 類似事業はない。																												
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費は腕章やたすきといったパトロール用品の購入費である。年度における結成団体(概算)数の必要最小限の予算で組んでいるため、これ以上の事業費の削減余地はない。																												
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 申請受付と物品の支給が主な業務であり、業務時間としてはわずかなものである。これ以上の削減余地はない。																												
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 防犯パトロール隊を結成しようとする市民すべてが対象なので、受益機会は公平。また、支給上限を定め、これを超える部分については自己負担を想定しているため、受益者負担は公平・公正。																												
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																														
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		防犯パトロール隊未結成の地域がある。このような地域で防犯パトロール隊を結成していく必要がある。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
低下	維持																													
	低下																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																														

No.	120-270	事務事業名	防犯協会運営支援事業				所 属 部	総務部
政策体系	政策名	0 1	快適で魅力あるまちづくり				所 属 課	安心安全課
	施策名	0 5	交通安全・防犯の推進				課 長 名	尾堂 守
	基本事業名	0 2	防犯活動の推進				所属G(係)	交通防犯G
予算科目	会計	目	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 2	0 1	1 5	23015	防犯対策費		
							電話番号 45-5111	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
犯罪のない明るく住みよい霧島市の実現のため防犯活動を推進している霧島地区防犯協会及び北始良地区防犯組合連合会に対し負担金を交付する。 霧島地区防犯協会及び北始良地区防犯組合連合会は、防犯活動を推進している任意団体で、事務局は霧島・横川の各警察署内にある。主な活動として、自主防犯パトロール隊による地域活動、夏まつりでの合同街頭パトロール、防犯に関する啓発・情報の提供(かけはし、安全のしるべ広報誌、子ども安全連絡表、犯罪発生状況等)、全国地域安全運動の推進、街頭キャンペーン、青少年の健全育成事業(「防犯柔道大会」「防犯少年綱引き大会」)、市・警察合同による「霧島市あんしん・あんぜん検定」など。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 49 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標 手段(主な活動)		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様。		名称	単位
		ア 負担金を交付した団体数	団体
		イ 「霧島市あんしん・あんぜん検定」受検者数	名
		ウ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民、防犯協会会員 <負担金交付先>霧島地区防犯協会、北始良地区防犯組合連合会 <負担対象活動>協会の運営に関する経費		名称	単位
		ア 市民	人
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 防犯意識が高まる。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 地域等の防犯活動に取り組んでいる市民の割合	%
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 防犯活動に取り組む。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 地域等の防犯活動に取り組んでいる市民の割合	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	7,625	7,562	7,564	7,525	
		事業費計(A)	千円	7,625	7,562	7,564	7,525	
活動指標	ア 団体数	2	2	2	2			
	イ 名		576	591	700			
	ウ							
対象指標	ア 人	127,615	127,773	127,450	128,383			
	イ							
	ウ							
成果指標	ア %		3.9	3.1	7.0			
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア %		3.9	3.1	7.0			
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
犯罪のない明るい社会実現を目指すため、霧島地区防犯協会(旧国分地区防犯組合連絡協議会)は昭和49年、北始良防犯組合連合会は平成6年に設立され、両団体への負担金の交付を開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特に変化なし。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし。	

事務事業名	防犯協会運営支援事業	所属部	総務部	所属課	安心安全課																									
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																														
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 負担金の交付を受けた防犯協会が活動することによって、市民や防犯協会会員の防犯意識が高まり、防犯活動に取組むことに結びつく。																												
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 市民の防犯意識を高め、安全で安心して暮らせるまちをつくっていくことは市の責務であり、そのような取組みを行っている団体を支援することは妥当である。																												
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 霧島市が犯罪のない安心安全なまちとなるには、防犯協会会員をはじめ、全市民の防犯意識が高まるのが大切であることから、対象・意図ともに適切。																												
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 防犯協会には様々な取組みをこれまでどおり実施してもらい、併せて、霧島市と合同で取組んでいる「霧島市あんしん・あんぜん検定」の受検者を増やして市民の防犯意識を高めることにより、成果の向上が期待できる。																												
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 防犯協会の取組みが縮小し、市民の防犯に対する意識の向上や取組みの機会が減少する恐れがある。																												
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 霧島市や警察で取組んでいる、防犯に関する各種事務事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 防犯に関し、防犯組合・市・警察と、これまで連携して取組んでいる。今後とも連携していく。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷																												
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 支援分担金の算出方法として、人口×50円としているため、削減余地がない。																												
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 業務としては、分担金支援事務がある。分担金支援事務については、市として決めている手順により事務を行っているため、削減余地はない。																												
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 防犯組合の活動は、全市民を対象としているので、受益機会は公平。また、受益者負担は求めている。																												
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																														
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		今後とも防犯組合を支援し、連携して防犯意識の向上や防犯活動に取組む。また、市と合同で実施している「霧島市あんしん・あんぜん検定」の受検者を増やす取組みを行う必要がある。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
低下	維持																													
	低下																													
<改革改善案> 「霧島市あんしん・あんぜん検定」の受検者を増やすため、市内各企業への積極的な広報啓発に取り組む。																														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																														

No.	610-030	事務事業名	消費者啓発事業	所 属 部	商工観光部
				所 属 課	商工観光政策課
政策体系	政策名	0 1	快適で魅力あるまちづくり	課 長 名	細山田 孝文
	施策名	0 5	交通安全・防犯の推進	所 属 G ( 係 )	商工労政グループ
	基本事業名	0 3	消費生活の安全性向上	電 話 番 号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	消費者基本法
	一般	0 7	0 1	0 1	100010	消費生活改善相談事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
市民の消費者トラブルを防止し、安心した消費生活をおくることが出来るようにするため、広報きりしまにて様々な消費者トラブルの事例などを掲載したり、市民を対象にした消費者教育講座(出前講座)を実施する事業。  消費生活とは、消費者が事業者者に金銭を支払って商品を受け取る行為等のことをいう。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <span style="margin-left: 20px;">↳ ( S 58 年度 ~ )</span> <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 <span style="margin-left: 20px;">↳ ( 年度 ~ 年度 )</span>

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 広報きりしま掲載回数	回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 講座回数	回
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	消費者トラブルの事例や対処法を知ることにより、トラブルを未然に防止することができる。	ア 人口	人
結果(どんな結果に結び付けるのか)	安心した消費生活をおくることが出来る。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア 講座の参加者数	人
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア 消費生活相談件数	件

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円				37	
		事業費計(A)	千円	0	0	0	37	
活動指標	ア 回		11	8	10	8		
	イ 回		2	3	8	3		
対象指標	ア 人		127,615	127,773	127,811	128,383		
成果指標	ア 人		200	700	272	300		
上位成果指標	ア 件		1,163	1,072	948	1,190		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 昭和58年より旧国分市にて消費生活相談員(嘱託)を採用し、広報等で被害に遭わないよう被害防止の啓発を行ってきた。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 本年度から消費生活相談員を1名採用し、担当職員とともに、より専門的な啓発事業が行えるようになった。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 講座後のアンケートからは、これまでに健康食品の購入等の消費生活被害にあったことがあるという回答も寄せられた。また、この講座は日常生活に役に立つという回答が多数寄せられている。

事務事業名	消費者啓発事業	所属部	商工観光部	所属課	商工観光政策課																					
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																										
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	見直し余地がある【理由】 ↷		結びついている【理由】 ↷																						
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	消費者啓発事業を実施することにより、消費者がトラブルを防止するために必要な知識を得ることができ、そのことにより安心した消費生活をおくることができるので結びついている。																								
	公共関与の妥当性	見直し余地がある【理由】 ↷		妥当である【理由】 ↷																						
なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	消費者基本法第17条第2項に「地方公共団体は、消費者の自立を促進するために啓発活動及び教育の推進に努めなければならない」と定められているので妥当である。																									
対象・意図の妥当性	見直し余地がある【理由】 ↷		適切である【理由】 ↷																							
対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	対象は、霧島市で消費生活を送っている市民であるので適切である。意図は消費者トラブルの事例や対処法を知ることにより、リトラブルを未然に防ぐことは、安心した消費生活につながるため妥当である。																									
有効性 評価	成果の向上余地	向上余地がある【理由】 ↷		向上余地がない【理由】 ↷																						
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	現在消費生活相談の担当が相談員が一人しかおらず、県内の人口が同規模の市(鹿屋市・薩摩川内市)と比較すると明らかに少ない。嘱託職員を複数配置し、相談業務だけでなく学校、地域、家庭、職場その他の様々な場を通じて消費生活に関する教育に力を注ぐ必要がある。																								
	廃止・休止の成果への影響	影響無【理由】 ↷		影響有【その内容】 ↷																						
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	廃止・休止は、市民の消費者問題の被害を増大させることに繋がりにくい。																									
類似事業との統廃合・連携の可能性	他 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↳ 統廃合できる ↷    連携できる ↷    統廃合できない ↷    連携できない ↷																									
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	消費者に特化した啓発事業は他にない。  他に手段がない【理由】 ↷																									
効率性 評価	事業費の削減余地	削減余地がある【理由】 ↷		削減余地がない【理由】 ↷																						
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	事業費なし。																								
人件費(延べ業務時間)の削減余地	削減余地がある【理由】 ↷		削減余地がない【理由】 ↷																							
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	本年度、嘱託職員を雇用したことにより、人件費を抑えつつ効率的に啓発事業を行っている。																									
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	見直し余地がある【理由】 ↷		公平・公正である【理由】 ↷																						
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	消費者基本法に定めがあるように、地方公共団体は、消費者の自立を促進するために啓発活動及び教育の推進に努めなければならない、受益者負担はなじまない。																								
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																										
(1) 1次評価者としての評価結果			(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性	適切	見直し余地あり	効率的な業務を目指すためには嘱託職員1名の登用を行った。担当職員はいるものの、数年で異動になる可能性があり、実質相談員が一人で相談事業と同時に本活動を行っているため、啓発に力を傾けることができていない。																							
有効性	適切	見直し余地あり																								
効率性	適切	見直し余地あり																								
公平性	適切	見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
廃止	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(有効性改善)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減				維持	増加																			
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
休止	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(効率性改善)																								
目的再設定	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(公平性改善)																								
事業統廃合	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(公平性改善)																								
<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> (従来通りで特に改革改善をしない)																										
< 改革改善案 >																										
国が平成21年度からの3年間を消費生活センター強化期間と定めており、「地方消費者行政活性化交付金事業」を実施する。この事業を活用し、今後3年間に相談員を増員して啓発講座を積極的に行える体制を作るなど、集中的に本市の消費生活センターの機能強化を図る必要がある。																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																										
消費生活相談員へ年に数回国民生活センター等の研修に行かせるなどし、最新の消費生活の問題や対処法を習得させ直接市民と相談にあたる相談員の資質向上に努める必要がある。研修費用等の財政的措置が必要。 また、消費生活相談員は基本的に常時相談に備えなければならない、講座開催等を行うには相談員は2人体制が望ましいが、財政的措置が必要(地方消費者行政活性化交付金の積極的活用)。 市報の消費者啓発コラムの連載化、出前講座の実施等。																										



事務事業名	消費生活相談事業	所属部	商工観光部	所属課	商工観光政策課
-------	----------	-----	-------	-----	---------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	悪徳商法等で被害を受けた者の救済のため、専門的知見に基づき適切で迅速な苦情の処理や斡旋を行うことで、安心した消費生活をおくることが出来るので結びついている。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘
有効性 評価	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	国は平成16年に消費者基本法を定め、消費者の利益の擁護・増進を図るため、国・地方公共団体及び事業者の責務を消費者基本計画に定めている。消費者基本法第19条に地方公共団体が商品及び役務に関し事業者と消費者との間に生じた苦情処理及び紛争解決の促進に努めなければならないと記載されているので妥当である。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘
	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	対象は、相談を受けるのは、消費生活に関連して不安を感じている人であるため妥当。 意図は、相談を受けることは、消費者トラブルの解決ができ、安心した消費生活をおくることが出来るため妥当である。
効率的 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	平成21年度の消費者庁設立に伴い、国が実施する「地方消費者行政活性化交付金」を利用して消費生活センター機能の強化を図ることにより成果の向上余地がある。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘
公平性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	消費者基本法に定められた地方公共団体の責務であり、廃止はできない。 廃止や休止は市民の消費者問題の被害を増大させることになる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↳ 社会福祉協議会が行っている心配事相談 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない ↘
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	専門的知識・資格及び守秘義務が必要である業務のため、連携できない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘
公平性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	事業費は相談員1名の人件費と業務に必要な書籍の購入等が主であり、必要最小限の事業費で業務を行っているため、これ以上削減できない。
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	本年度より嘱託職員を1名雇用して対応し、人件費の削減を行い、事業の効率化を図っている。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘
事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	市民が誰でも問合せ可能な相談業務であり、受益者負担はなじまない。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																										
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率的性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率的な相談業務を目指すために嘱託職員の登用を行った。平成21年度の消費者庁設立に伴い、消費生活センター機能強化を図る必要がある。																										
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
低下	維持																										
	低下																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																											
消費生活相談員へ年に数回国民生活センター等の研修に行かせるなどし、最新の消費生活の問題や対処法を習得させ直接市民と相談にあたる相談員の資質向上に努める必要がある。研修費用等の財政的措置が必要(地方消費者行政活性化交付金の積極的活用)。																											